

こちらは明治期の「中の茶屋」の絵葉書です。左の写真中央の石塔は、現在の茶屋の奥手にあり、建物が少し前に移動したことが分かります。

聖地巡拝④

スペースが足りなくなってきましたので、「外八海」は次回に回し、「忍野八海」をご紹介します。

「忍野八海」とは、山梨県南都留郡忍野村ある富士山の伏流水を水源とされる八つの湧水池のことをいいます。富士講の人々は、これらを「八海」に見立て水垢離をとり修行の場とされたのです。今はその跡が消えてしまった所もありますが、いくつかの池のほとりに巡拝の石碑が残っています。環境庁より全国名水百選に選定されており、半日程度で巡拝できますので、是非一度お訪ねください。

第一番 出口池 難陀竜王
 「天地の開ける時に動き無き御山の水の出口尊き」

第二番 お釜池 踐難陀竜王
 「富士の根の麓の原に湧き出る水は此の世の御釜なりけり」

第三番 底抜池 袈迦羅竜王
 「汲むからに罪は消えなん御仏の誓ひぞ深し底抜けの池」



第四番 銚子池 和脩吉竜王
 「汲めばこそ銚子の池も騒ぐらん元より水に波のある川」

第五番 湧池 徳又迎竜王
 「今もなほ湧く池水に守神の末の世受けて変わるぞ知る」

第六番 濁池 阿那婆達多竜王
 「鱧鳴らす竜の都の有様を汲みて知れとや濁る池水」

第七番 鏡池 麻那斯竜王
 「底澄みて長閑けき池はこれぞこの白妙の雪の雫なるらん」

第八番 菖蒲池 優鉢羅竜王
 「菖蒲草名に負ふ池は曇り無き五月の鏡みる心地なり」



第四番 銚子池



第一番 出口池



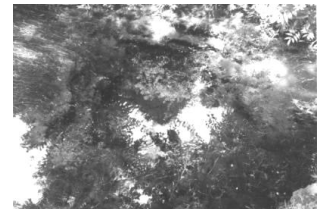
第八番 菖蒲池



第七番 鏡池



第五番 湧池



第二番 お釜池



第六番 濁池



第三番 底抜池

◆上記案内図は、田中収氏監修の『忍野の自然』から転載させていただきました。◆写真と現状は一部異なる場合があります。